かながわ建設ＤＸセミナー2025
～ＩＣＴ活用で現場の今をアップデート！～　実施要領

１　目的

県内の建設現場におけるＩＣＴ導入に向けて、受発注者の双方の目線からＩＣＴのメリットや今までの事例等をセミナー形式にて開催することで、導入の足掛かりとなることを目的とするものです。

本セミナーは、ICT 活用工事に興味はあるが、まだ経験の無い方から、既に経験したことがある方まで、経験の有無に関わらず、県内の建設業関係者であれば聴講可能とします。

２　主催者

共　催：神奈川県、公益財団法人神奈川県都市整備技術センター
協　力：一般社団法人神奈川県建設業協会

３　聴講対象者

県および市町村職員、建設業関係者等で聴講を希望する者

４　開催日時・聴講場所

開催日時：令和８年１月 16 日（金）　13 時 30 分～17 時 00 分（受付：13 時 00 分～）
聴講場所：横浜市開港記念会館　１階講堂（横浜市中区本町 1-6）　※対面のみ

５　定員

会場：３００名程度

６　セミナー内容

（１）説明題目：５題目（別紙　時間割のとおり）
（２）説明方法：１題目の発表時間は 30 分、質疑応答時間は５分程度

７　申込方法

聴講を希望される方は、神奈川県のホームページ内にある e-kanagawa 電子申請（電子申請システム）により、それぞれ個人でお申込みください。

神奈川県トップページ内「手続き・申請」
→「電子申請」
→「e-kanagawa 電子申請：神奈川県トップページ」
→「e-kanagawa 電子申請システム」
→「オンライン申請手続き」
→「キーワード検索」よりお申し込みください。
https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=113222
（申込期限　令和７年 12 月 26 日（金）17 時 00 分まで）

８　継続学習制度（ＣＰＤＳ）について

- 本セミナーは継続学習制度（ＣＰＤＳ）の対象とします。
- ＣＰＤＳの学習単位は３単位とします。
- 講習会終了時に、主催者が本人確認（写真付き身分証明書にて）の上、受講者名及びプログラム番号を印字した「受講証明書」をお渡しします。
- 本セミナー申請時に、ＣＰＤＳの申請が無かった場合や、本人確認ができなかった場合は、受講証明書の発行ができませんので、ご注意ください。
- 学習履歴の申請は受講者が行います。

９　注意事項等

- 聴講費用は無料です。
- 講堂内の飲食は禁止です。
- 会場に駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してお越しください。なお、お車でお越しになる場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
- やむを得ず当日欠席する場合は、必ず「問合せ先」にご連絡ください。

10　問合せ先

神奈川県 県土整備局 都市部 技術管理課 技術管理グループ　河合、田吹
電話：045-210-6108（直通）
電子メール：gikan.137@pref.kanagawa.lg.jp

◆ 会場案内

開催場所　　横浜市開港記念会館　１階講堂
住　　所　　横浜市中区本町１丁目６番地

〔交通案内〕

①　みなとみらい線（東急東横線乗り入れ）　日本大通り駅　出口１から徒歩１分
②　ＪＲ根岸線、市営地下鉄ブルーライン　関内駅　出口１から徒歩 10 分

別紙

かながわ建設DXセミナー2025
～ICT活用で現場の今をアップデート！～

令和8年1月16日（金）
対　面　:横浜市開港記念会館
司会・進行:神奈川県県土整備局都市部技術管理課

時間		題　名 / 概　要	説明者	
13:00 ～ 13:30	（30分）	受　　付		
13:30 ～ 13:35	（5分）	開会・事務連絡		
13:35 ～ 13:40	（5分）	**開会あいさつ**	神奈川県　県土整備局 都市部　技術管理課	課長 田村　貴久
13:40 ～ 13:55	（15分）	**「神奈川県のICT活用工事の取組について」**	神奈川県　県土整備局 都市部　技術管理課 技術管理グループ	技幹 平野　誠
13:55 ～ 14:25	（30分）	**「ICT要領の調べ方と簡易なICT導入方法」** 国交省のICT活用工事における要領の解説および調べ方の解説をします。また、小規模現場においても活用できるICTと導入ステップについて解説します。	一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 研究第三部	主任研究員 八木橋　宏和
14:25 ～ 14:35	（10分）	質疑応答		
14:35 ～ 15:05	（30分）	**「小さな現場でこそ光る建設維新ICT3.0」** 山口県では、小規模な現場であっても着実に効果が得られることを目指し、「建設維新ICT3.0」として、身近なICT活用による生産性向上と働きがいの向上に取り組んでいます。特に、ICT導入の要となるのはICT建機による施工ではなく、3次元設計データの作成であると位置付け、その内製化の支援や発注者指定型の拡大を進めています。さらに、小規模現場向けのセミナー開催、SNSを活用した情報発信、書類のスリム化など、現場目線での多面的な取組みを展開することで、建設現場の「生産性爆上げ」を実現し、次世代につながる建設産業の姿を描いています。	山口県 土木建築部 技術管理課 建設DX推進班	主査 中越　亮太
15:05 ～ 15:15	（10分）	質疑応答		
15:15 ～ 15:25	（10分）	休　　憩		
15:25 ～ 15:55	（30分）	**「ICT施工を始めて、得たもの、失ったもの」** ICT施工を始めて、得たもの、失ったものを神奈川県内の一事業者の観点からお話します。	本陣水越株式会社	代表取締役 水越　雄一
15:55 ～ 16:05	（10分）	質疑応答		
16:05 ～ 16:35	（30分）	**「建設ICTの裾野拡大」** 小規模工事から始める設計データの内製化、生産性の向上そして工事利益向上による経営環境の改善と働き方改革について	YMNS（ﾜｲｴﾒﾈｽ）	代表 山西　公彦
16:35 ～ 16:45	（10分）	質疑応答		
16:45 ～ 16:50	（5分）	**閉会あいさつ**	公益財団法人 神奈川県都市整備技術センター	事業推進課長 田代　茂樹
16:50 ～ 17:00	（10分）	アンケート記入		

※セミナー講演の題名・概要は変更になる場合がございます。ご了承下さいますよう、お願い申し上げます。